

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい社会 地理</h1>	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き 1 ページの内容が、「学習課題」から本文、整理・まとめ「チェック&トライ」の流れで構造化されている。また、単元の最後にワードチェックなどの「まとめの活動」を設けており、基本的な知識の定着が図れるよう工夫されている。 ○地図の見方や読み取り方、統計資料の作成方法等、地理的技能を身に付けるため「スキル・アップ」を設定し、学習に必要な技能の定着を図れるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の終末部には、「ベン図」「ウェビング」といった多様な思考ツールを活用して思考を深め、言語活動の充実を図れるよう工夫されている。 ○地理的事象や地域的特色について、「地理を学ぶ5つのミカタ」や「地理のミカタ」を設け、主体的に思考・判断した内容を適切に表現する力を身に付けられるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の諸地域の学習の導入や「地域の在り方」の学習で「持続可能な社会の実現」と関連し、現代的な諸課題を意識しながら、学習を進められるよう工夫されている。 ○「地域の在り方」の学習では、学習してきたことを振り返りながら、「未来にアクセス」として地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充実させ、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるよう工夫されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入部で、単元全体を貫く「探究課題」を立て、「まとめの活動」でその解決を補助する「探究のステップ」に取り組むことで、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ○小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」や「探究課題」など対話的な活動を実践することにより深い学びができるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「サブタイトル」の設定や「聞かせて！中学生」「もっと解説」を掲載し、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての文字に、UDフォントを使用しており、グラフや地図はカラーユニバーサルデザインに全対応し、難解な用語については巻末に用語解説を設けている。 ○見開きページごとに学習課題が設けられている。導入部・展開部・終末部の形で構造化されたレイアウトとなっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入の活動」で単元全体を貫く「探究課題」を立て、1 単位時間ごとに「学習課題」を解決し、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する流れが構造化されている。 ○他分野や他教科と関連している資料や特設ページには、「リンクマーク」が設定され、三分野の系統的な学習や教科を横断した学習の展開できるよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">中学社会 地理 地域にまなぶ</h1>	<div style="text-align: center;">17 教 出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページの始めに「学習課題」を掲げ、1単位時間の内容を整理しながらまとめの活動ができるように「確認」が設けられている。また、章・節の最後に「学習のまとめと表現」を設定し、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。 ○地図やグラフの扱い方等を学習する「地理の技」を設定し、地理の学習で身に付けたい技能や表現力を育成できるように配慮されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間の学習の最後に「表現」を設定し、振り返りの学習として自分の言葉でまとめたり、対話的な活動をしたりすることで思考力・判断力・表現力等の育成が図れるよう工夫されている。 ○学習の流れに即して「THINK!」や「TRY!」のコーナーが設けられ、地図・グラフ・絵・図解等の資料を読み取って考察することで、地理的な見方・考え方が養えるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界地誌の導入ページで、州ごとの主題とともに「持続可能な社会の実現」と関連する特徴的な地球規模の課題を扱い、現代や過去の社会的事象について、資料を的確に活用しながら考察できるよう工夫されている。 ○三分野を通じて、地域社会での「防災」を取り上げ、社会の形成者としての自覚と参画への意識を高められるよう工夫されている <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○タイトルに学習内容を象徴する主題と学習事項を表す副題を示し、生徒が課題意識をもって学習することができるよう配慮している。また、「学習課題」から展開していく課題解決的な学習の流れに沿って教材や資料が掲載されている。 ○「確認／表現」では、基礎的な事項の確認と整理や表現活動を行うことで1時間の学習を振り返り、他者との対話や自ら学び、自ら考える学習に取り組んだりすることにより、学びが深まるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭や折り込みページ・扉ページに資料や写真を大きく掲載することで、地図への興味・関心が高まるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字はUDフォントを使用し、図やグラフはカラーユニバーサルデザインに対応していて、難解な用語や補足説明の必要な箇所は、巻末に用語解説を設けている。 ○見開きページごとに学習課題が設けられている。本文と資料の関連を番号で示すことで、本文と資料が結び付きやすくなるよう工夫されている 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章・節といった「内容のまとめり」ごとに、学習の見通しが端的に示されている。「学習のまとめと表現」では、学習の振り返りとして、自分の言葉で表現したり意見を交換したりする活動を行い、段階的に学習が深められるように配慮されている。 ○三分野の学びを関連付けるために「関連」マークが設定されており、系統的な学習が展開できるよう工夫されている 	

書名 項目	<h1>社会科 中学生の地理</h1>	4 6 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 帝 国 </div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き 1 時間の内容が「学習課題」から本文「確認しよう」「説明しよう」という展開で構成されている。本文には、全編にわたり地理的事象のしくみや概念等が理解できるように、因果関係を踏まえた上で具体例を挙げながら記述されている。 ○資料の読み取りやグラフの作成等の力を伸ばすため、「技能をみがく」が設けられ、地理的な見方・考え方を働かせる上で必要な技能が習得できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きの右下の「確認しよう」「説明しよう」では、本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられ、言語活動の充実により、思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう工夫されている。 ○各章末には「学習を振り返ろう」が配置され、章の学習で得た知識を生かして、地理的な見方・考え方を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○コラム「未来に向けて」が掲載され、持続可能な社会をつくるための人々の取組を示すことで、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができるよう工夫されている。 ○最終単元の「地域の在り方」では、「持続可能な社会」を実現する例を提示し、より具体的に地域の在り方を構想し、社会の発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「章（節）の学習を振り返ろう」では、「章（節）の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて考える「アクティブ地理」を設ける等、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ○「確認しよう」「説明しよう」のコーナーでは、学習内容を振り返り、習得した知識を活用して言語活動につなげる問いを設けることで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や地図、グラフ等が大きく見やすく提示され、地理への興味・関心が喚起されるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字は、Dフォントやカラーユニバーサルデザインを使用している。用語解説や関連資料について、本文のページの側注欄に設けている。 ○見開きページごとに学習課題が設けられ、本文・資料・側注等が統一されたレイアウトで配置されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に「単元を貫く問い」が設けられており、学習の見通し・振り返り活動の基本的な流れが示され、見通しをもった学習活動につながるよう工夫されている。 ○三分野の学びを関連づけるために導入、単元を貫く問いの設定、学習の振り返りに一貫性をもたせ、スムーズな学習が展開できるよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1>中学社会 地理的分野</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページの始めに「学習課題」を明示し、本文や資料で学び、最後に「確認・表現」コーナーで習得した知識・技能を文章化・言語化することで、定着を確認できるよう工夫されている。 ○「トライ」のコーナーを設定し、必要な情報を読み取る技能を高められるようにしている。また、「スキルUP」を設定し、生徒の発達の段階に応じて、必要な技能を系統立てて習得できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「トライ・スキルUP」等のコーナーで、思考力・判断力・表現力等の向上を図る場面を設定し、生徒が自分の言葉で表現するなどの言語活動を充実させることができるよう工夫されている。 ○地理的な見方・考え方を働かせる問いを「深めようコーナー」として設け、習得した知識を定着させ活用させることで、思考力・判断力・表現力等の育成を図ることができるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本の諸地域」の章末で、これまでの学習を「持続可能な社会の実現」の視点から振り返ることができるよう工夫されている。 ○各章末において「ふりかえる」「アクティビティ」「チャレンジ地理」等で、主体的に学習に取り組む態度、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力、互いのよさを生かして協働する力等が培えるよう工夫されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地理との出会い」で地理的な見方・考え方を理解し、本文ページの「見方・考え方コーナー」で学習課題の解決の際、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 ○「単元のふりかえり」や「アクティビティ」「チャレンジ地理」のコーナーを設け、学習内容の理解を深める主体的・対話的な活動ができるように工夫されている。また、主体的に考察できる今日的課題が取り上げられている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真を見て考えるクイズや現地の人の言葉を紹介する「声コーナー」等が設けられており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字は、UDフォントと資料のカラーユニバーサルデザインを使用している。巻末に用語解説を設け、地理的用語を6種類に区分して解説している。 ○見開きページごとに学習課題を設けている。導入資料・学習課題・本文図版・確認等が統一されたレイアウトで配置されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習課題」と「見方・考え方」が明確に示され、見通しをもった学習が進められるよう工夫されている。また、単元の終わりには「学習のまとめ」が設けられ、基礎的・基本的な学習内容の定着とそれを深められるよう構成が工夫されている。 ○「連携コーナー」や章の導入ページで他分野と関連した資料を掲載することで、系統的な学習が展開できるよう工夫されている。 	